



うのてん報広

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL(一日市)38

町のうごき

本籍数	4,020
本籍人口	14,055
世帯数	2,767
住民登録人口	13,076
内 男	6,466
内 女	6,610

7月1日現在

総事業費七千七百万円

本町に農免道路

本町負担はわずか六・六%

六月三十日、「農林漁業用揮発油税財源身替農道(略称「農免道路」整備事業)の天王町採択が決定した。

この「農免道路」は、農業用ガソリン税を減免する代わりに農道を整備するもので、事業費のうち十五分の十が国の負担、残り十五分の四を県、十五分の一を地元市町村で負担するものである。

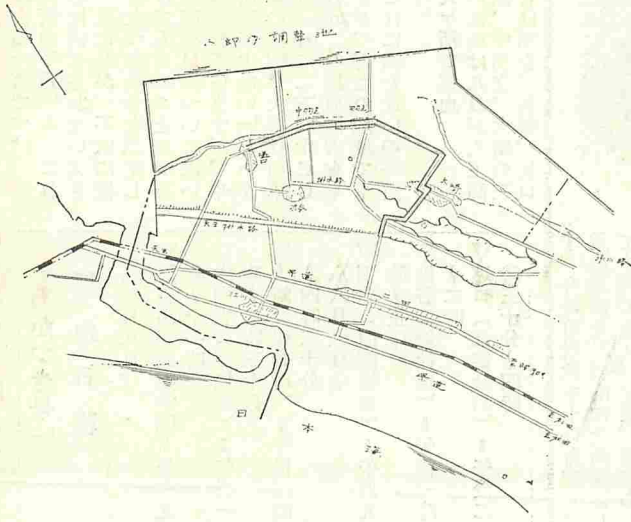
本町は塩口北野九一(不動下五二六(略図参照)までの延長四千六百三十八・三メートルについて、数多い申請の中から鈴木一代議士をはじめ、知事、渋谷県議、それに地元関係者らの多大な努力によつて今年度の農

免道路に採択されたもので、これについて獲得した予算は七千七百万円で、このうち本町の負担はわずか五百二十万円で、残る七千八百八十万円は純然たる国と県の補助金です。本町でこのような多額の補助金による道路整備事業はこれまで類のないことで、就任以来、このために奔走してきた藤原町長の大ヒットともいえる。

設計概要によると、農免道路の幅員は五・五メートルで、全線を五センチメートル厚の舗装することになっている。今秋から着工される見込みで、完成した場合の受益面積は田八百六十ヘクタール、畑三十一ヘクタール、果樹四十三ヘクタールにおよぶ。

しかし、用地買収、家屋移転などの大きな問題が行く手にたちはばかつており、地元関係者の深い認識と特段のご協力なしでは容易になしえない事業です。農業生産の近代化、農産物流通の合理化、また湖岸環境の整備をはかるうえに欠かせないこの道路整備事業に対し地元関係者皆様のご配慮とご協力を心から願います。

北野 不動下～塩口間農免道路略図

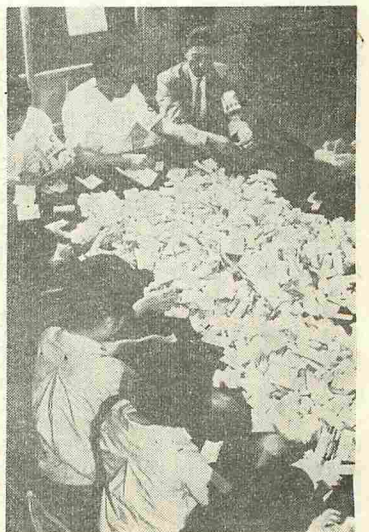


教育者大会で六氏を表彰

第十回天王町教育者大会が七月二十日、秋田市手形の秋田ヘルスセンターで開催されたが、この席上教育功労者二名、特別功労者四名に表彰状と感謝状が贈られた。

- 受彰者は次のとおり。
- 「教育功労者」
- ▽渡辺俊雄(天王中)▽渡辺晶(追分小)
- 「特別功労者」
- ▽佐々木吉太郎(下出戸)▽安田末蔵(追分小PTA会長)
- ▽保坂広治郎(天王小)
- 「感謝状」
- ▽土方文生(秋田中央病院眼科長)

新しい農業委員決まる



一般選挙の開票風景

新しい農業委員二十二名が決まった。

任期満了(七月十九日)に伴う農業委員一般選挙は七月八日に告示、同十五日投票が行なわれて新委員十五人が誕生。一方、学識経験者五人は七月十六日の臨時町議会で推薦され、農協、共済からの二人も決まって七月二十日、新委員二十二人の顔ぶれがそろった。

新農業委員

(氏名、年齢、住所の順)

- ▽選挙による委員
- 戸田 藤三(66) 天王
- 佐藤 栄蔵(37) 二田
- 安田 亦六(67) 羽立
- 藤原 菊治(49) 二田
- 菊地 貞蔵(54) 上出戸
- 藤原 金治(58) 江川
- 藤原 金治(54) 江川
- 桜庭専太郎(54) 塩口
- 児玉 正(44) 二田
- 吉田 銀忠(56) 大崎
- 鈴木 多市(62) 羽立
- 浅野惣太郎(48) 二田
- 石川久米治(48) 塩口
- 柏崎金右衛門(47) 天王
- 加賀谷清吉(59) 下出戸

選任委員

- 柏崎 東一(30) 天王
- 「農協推薦」
- 目黒 久治(41) 羽立
- 「共済推薦」
- 古山 良蔵(53) 上出戸
- 「議会推薦(学識経験者)」
- 上坂 順治(42) 天王
- 三浦 重春(37) 大崎
- 佐々木吉之助(62) 下出戸
- 海老沢勝治(59) 二田
- 佐藤祐太郎(55) 不動台
- 会長に佐藤栄蔵氏



佐藤氏

新委員による初の農業委員会総会は七月二十三日、役場議員控室で開かれ、会長などを互選で次のとおり決めた。

- ▽会長 佐藤栄蔵
- ▽会長職務代理者 安田亦六
- ▽県農業会議一号議員 佐々木吉之助

八月の町政懇談会

(予定)

22	17	9
日	日	日
大崎	上出戸	中羽立

31	30	28	26
日	日	日	日
細谷	児玉	蒲沼	下出戸

みんなので、献血を

あかつき号が来ます

八月八、九日の両日 秋田県赤十字血液センターの移動採血車「あかつき号」が来町します。町民みなさまから献血ををお願いします。ため、昨年十二月、ことし一月に引き続き三回目の来町です。

血液問題は、最近テレビ、ラジオ、新聞などで連日のように取り扱われ、献血を強く訴えています。けれども毎月七百本（一本二百CC）以上の血液が不足。しかも、交通事故の激増、医学の進歩に伴ない、血液

の需用はふえる一方です。「保存血液の不足」——これはひとごとには済まされたい大きな問題で、私たちが、不慮に輸血が必要となつた場合を想定してみただけでもゾッとさせられます。血液不足についてはいろいろ論議されていますが、やはり「献血者が少ない」ということが一番の原因。大型採血車の場合でも一日に二万四千CC（百二十人分）の採血能力をもつていますが、どこの地域でもなかなかこれに満たないのが実情です。

- 今回は六ヶ所所採血
- 本町での採血は八日が天王高等農業学園、中羽立、大崎の三ヶ所、九日は羽立、渋谷、塩口
- 「あかつき号」
- 採血日程
- 八月八日
 - 天王高等農業学園 午前九時～十二時
 - 中羽立（公民館） 午後一時～二時三十分
 - 大崎（保育所） 午後三時～四時三十分
 - 八月九日
 - 羽立（旧劇場前） 午前九時～正午
 - 渋谷（神社前） 午後一時～二時
 - 塩口（部落会館） 午後二時三十分～四時

イバラの道を越えて獲得



「六月三十日」——ほんとうに終生忘れ得ぬ

感激の日です。思えば昨年五月、町長に就任早々この難問題に取り組んでから十三ヶ月、交渉はまったく暗黒中、イバラの道の連続でした。一時は絶望の底に追いやり、不可能かと思われましたが関係各位の絶大なるご支援と協力により、ついに七千七百万円のご予算獲得に成功したのです。

と調和させて効果的に整備するには、ちみちな計画と国や県の大額補助等を期待しつつこの実施に当たれば、その達成は非常に困難です。いたずらに年々歳々同じ結果をくり返し、町民に多大の損失を与えていることは皆様よくご承知の通りであります。

農免道路の決定について

天王町長 藤原慶三郎

五ヶ年計画で道路を整備して、この「農免道路」による湖岸道路の整備をぜひ実現したい念願で、今春来、この獲得に係職員共々全力を傾注した次第で

地元関係者の協力が必要しかしながら、この実現には用地買収、家屋移転、その他前途に多大の問題がひかえており関係各位の心からのご協力がなければ実現できない現状です。農家にとっては大切な土地で、種々の事情があることと存じますが、町づくりの一環としての道路整備事業ですので、よろしくご協力のほどをお願い申し上げます。

最後に本町農免道路実現のため、中央諸官庁の折衝を一手に引き受け、最後まで奔走して成功させてくださった鈴木一代議員に無限の感謝の意を表し、小知知事、渋谷県議はじめご尽力いただきました関係各位に心からお礼申し上げます。今後共よろしくご助力、ご指導たまわりますようお願い申し上げます。

量かふえるといわれる。採血は健康を確かめたいという男女とも一回二百CC。日常の生活に何ら影響はありません。献血者には血液型（A B O 式 R H 式）の判定、肝臓機能の正否を記入した全国共通の献血手帳が個人あてに届けられます。なお、採血した血液は三週間の保存が可能です。こぼさないよう町政を行なつてい、とのべた。

このあとテーマを中心二時間余りにわたつて意見かわし十一時過ぎ会を閉じた。

【血液と献血】県内で輸血に使われる血液量は、毎月三千五百本（三百七十七万本）（二百CC入り）だ。以前はこの血液をほとんど県外から購入していたが買血が少なくなると、輸血を受けた患者が血清肝炎やエイズなどの病気にかかることが少なくなかった。そこで、患者が良質の血液を提供しようという献血運動が起り、一昨年十二月よりお願いしています。

町連合青年会では「町長を囲む座談会」を七月二十一日に催した。躍進天王町のタクトを振る藤原町長と直接ヒザを交えて意見をかわし、青年会活動のげます。

「工」の見通しは町長 工場の誘置には最大の努力を払っている今後も続けるが、採算を無視してまで来る工場は少ない。しかし、今後の条件整備次第では可能性は十分にある。ただ即座に工場が建ち、工場地帯になるという楽観視は禁物だ。

二、三男問題はどうか町長 二、三男問題は四、五年前までは大きな問題であったが、現在ではむしろ農業後継者問題の方が深刻だ。この方向に力を入れていないが、一概に二、三男の他県流出をどうのこうのと決めてかかるのは早計でないかと思う。

私ども町の責任者として、計画性ある町づくりを基礎に町民の生活を守り、町民に奉仕したいと考えております。とくに地の利を占め、将来無限に発展する可能性を秘める躍進天王町、夢多き郷土わが天王町の町民が希望に満ちた明るい生活を営み、豊かな社会をつくりだすことを強く念願するものです。町民各位、とくにあすの本町を背負う青壮年、ご婦人の方々が、真理と平和を愛し豊かな人間性を備え、町発展のいしづえとなられるよう心からお願いたします。

進むべき方向を見いださそうというもので、ことし三回目。会は午後八時半から役員控室で開かれたが、今回のテーマは「新産都市のその後、②八郎瀧入植問題、③町政一般」の三つ。

最初、町長がこの三点について説明。①新産都市の本格的な建設は昭和四十五年以降となる。しかし、この間だまつて見ているわけではなく、用地獲得など諸準備を進めている。どこでも工場誘致という問題で難点をかかえ、国県においても「ナメてカラい」というのが実状だ。町の財政力に応じた新産都市づくりを進めてゆくつもりである。②八郎瀧入植については全国の入植希望者は予想外に多い。また、第一回入植者の募集人員は予定よりかなり減つた。本町では、現在十六名の希望者がいる。③町政としての重点施策は、本町の基幹的産業である農業に、あらゆる点で先駆的役割りを果たすと考え、「二田地区農業構造改善事業」、「農業種発油財源身替による湖岸道路の整備」それに「明るく健康な人づくり町づくり」の三点で、さらに、細部の問題をと

町長 町の将来はみなさんの双肩にかかるところが多い。豊かな人間性を養ない、町の発展をめざしてがんばってほしい。

待望の独立園舎完成

盛大に落成式行なう

出戸地区住民待望の出戸幼稚園・独立園舎が七月十日に落成した。去る四月二十日に村山組(天王)の手で着工、急ピッチで工事が進められ契約期間より一ヶ月も早く完成をみた。

出戸小学校裏の東側にむね統きて新築され、木造平屋建てで総工費三百二十万円。保育室、遊戯室、職員室など合わせて二百十五・七三平方メートルありモダンな園舎である。

お母さんらがお礼の踊り落成式は七月十六日午後一時から、同園舎で関係者約六十名



お母さんたちが感謝の意をこめて踊りをこころう

礼を申し上げます。」とお礼の言葉をのべた。

また、この席上で園舎の設計にあたった小畑設計事務所、工事を請け負った村山組に町教育委員会から感謝状が贈られた。

このあと、園児とお母さん方が感謝の意をこめて踊りをこころう。なごやかな落成式であった。

消防分団長会議

防災計画など話し合う

町消防団は七月二十日、ことし二回目の分団長会議を開き防災計画などを話し合った。

まず、低温気象情報が発令された場合サイレンを長声二回吹鳴するが、この際住民が火災発生と間違わないよう周知させる。町防災計画については、災害の防止、軽減をはかるため防災業務の調整と円滑な処置を行えるよう必要な事項を規定するもので四章二十四節から成っている。

そのほか、国庫の補助を得て近日に購入する予定の小型消防ポンプなどについて話し合った。



役場で開かれた分団長会議

自分の名前を確かめてください

〓 永久選挙人名簿〓を次のとおり縦覧に供します。

期間―八月二十六日から九月九日まで

時間―毎日午前八時から午後五時まで

場所―天王町役場

あなたやあなたの家族が名簿のついでにどうか、この期間に必ず縦覧してください。とくに、ことしからは選挙法の改正により〓補充選挙人名簿〓というものがなくなりましたので、よく注意してください。

(P) (T) (A) 研究会(開く)

第二回「PTA研究会」が七月三日、天中で開かれた。

この集会は今春三月に初集を開催。大きな成果をおさめたもので、各学校PTAと部活PTAの関係者が一堂に集まり、

子ども会リーダー講習会おわる

町青少年問題協議会、社会福祉協議会、教育委員会は七月二十一、二の両日、出戸小学校で「子ども会リーダー養成講習会」を開催。子ども会のリーダーおよびリーダーとなるべき児童生徒の指導にあたった。

講習会には町内の小、中学生百十六名が参加。どうしたら子ども会を活発なものにし、スムーズに運営し、チームワークをとれるかについて二日間びつしり学んだ。

指導には町内小、中学校教師をはじめ、地域子ども会の世話人である佐々木吉太郎氏、児玉兼蔵児童委員、役場民生係ら多数があつたが、元気はつらつとした子どもたちに多少押され気味。話し合いの席上でもおとな顔負けの意見交換し合う場面もあつた。



意見を出し合う受講生たち

町税完納組合を表彰

町ではこのほど、四十年度の町税について完納(四十年十二月二十五日まで完納)した二十組合を表彰した。

表彰された組合は次のとおり

(カッコ内は組合長)

▽天王四区(柏崎新七)▽堀口一区(桜庭喜八郎)▽大崎一区(三浦三蔵)▽二田二区(小野克太郎)▽堀口二区(石川金藏)▽天王神明町(柏崎兼松)

▽同旭町(鎌田悦郎)▽追分西一(吉田三郎)▽同二区(真井田ゆきよし)▽天王下町(京谷仁三郎)▽松洲(西村弓太郎)▽堀口三区(桜庭金五郎)▽天王本町(京谷仁太郎)▽同西荒町(藤原三之助)▽同曲町上(沼田喜市)▽追分商工会(鎌田鈴之助)▽大崎三区(三浦与治郎)▽天王曲町下(戸田藤三)▽牛坂(草階金五郎)

お出かけのとき「たばこ」がきれそうだったら町内の店から買いましょう

みんなでの防止を!!

いまが一番多いとき

長かつたつゆも明けて暑い日が続きますが、八月にかけては運転者、歩行者とも注意力が減退し、思わぬ交通事故の発生する時です。

また、夏休みで学童の路上遊びが多くなるという悪条件も重なって、一年中でもっとも交通事故の多い時期です。子どもの交通事故による死者は年々増加しています。

先週、小学生の死亡事故は昨年の九倍で、そのほとんどが路上で遊んでいて車の直前、直後にとびだした事故です。おとなみんなが注意して子ども

も事故から守ってください。

あいかわらずあとを絶たないのが無免許運転、酒よい運転、スピードのだしすぎ(交通三悪)です。とくに秋田県は、よつぱらい運転で他県を大きくリードしている状況でもありません。

「よつぱらい王国秋田」の汚名を運転者の社会だけでも完全に追いついて、クノんだらるるのなるなるを忘れずに、子どもを水魔から守ろう。

夫婦で一万円の年金 明年一月から実現

国民年金

先の第五十一国会で国民年金法が改正され、四月十二日(一部五月)から国民年金制度が大幅に改善されます。

まず、かけ金をかけて年金を受ける「きよ出年金」は約二・五倍に引き上げられ、いよいよ夫婦で月一万円の年金が受けられるようになります。障害年金も対象範囲が広がられ、かなり受けやすくなりました。

一方、かけ金をかけないで年金を受ける「福祉年金」も、月額二百円引上げられます。主なものはつぎのとおり(カッコ内は現行)

- ◆きよ出年金(かけ金をかけて年金を受けるもの)
 - 【老齢年金】▽二十五年保険料を納めた場合 月額五千円(二千円)。
 - ▽四十年保険料を納めた場合 月額八千円(三千五百円)。
- 【障害年金】▽最低保障額 月額五千円(二千円)。
- ▽重度の障害の場合 月額六千円(二千

千五百円)。

暑くなりました。水浴びの季節です。いつの時代でも水遊びは子どもにとつて天国です。それだけに水の犠牲者は子どもたちで占められています。

危険を知らず遊びに夢中な子どもたちに対して、おとなみんなが注意して水魔から防ぎましょう。子どもの水死事故は、おとなに考えられないようなありふれた場所でもおきています。

非行防止

夏休み中に多いのが青少年の非行です。学校、PTA、父親間によく連絡をとって非行化の早期発見につとめ、早いうちに悪の芽をつみとることが大切です。

住登標語入賞者の表彰式

六月に町で募集した住民登録についての標語で三等まで入賞した六人の表彰式が七月十五日、役場で行なわれた。受賞したのは、「住民登録すませはじめ町の人」(追分小)をはじめ、大関りゆう子(天王中)、佐藤寿(追分小)、藤井泰夫(同)、須田富貴子(天王小)、山方光久(天王中)さんの六人。応募作品百六十四点の中から、一等三等までにはいつもの手紙に賞状と盾が贈られ「これからはがんばってください」と励まされた。



受賞した六人。右から大関、佐藤、安田、藤井、須田、山方さん

に伴ない保険料も現行より百円引き上げられて、四十二年一月分からは三十五歳未満の人が月二百円、三十五歳以上の人は月二百五十円となります。

県民手帳の予約募集

ただいま昭和四十二年用「秋田県民手帳」の予約募集をしています。

携帯に便利なポケット型で、じょうぶでスマートなビニールシート装訂になっています。この手帳には、豊富な最新の統計資料編をはじめ、名簿編、生活便覧編などが盛り込まれています。一冊百円で、予約された方には十月中旬ごろまでに頒布されます。

ご希望者は役場企画室へお申し込みください。(頒布数量に制限がありますのでお早くと約を……)

お知らせ

計量器の定期検査

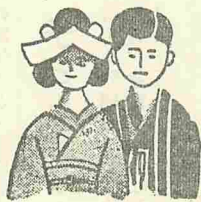
取引および証明に使用している計量器について、昭和四十一年度の定期検査を次のとおり行ないます。必ず受検してください。

日時 九月二日(金)午前
十時〜午後二時

検査場所 天王町役場
検査区域 天王町全域
計量器は運搬途中破損しないようご注意ください。また、よくそうじして検査に支障のないようお願いします。この日に受検できない方は役場商へ申し出て下さい。

なお、八月中旬に定期検査を受けなければならない計量器の種類、およびお別れに実地調査を行ないますのでよろしく願います。

慶弔欄



六月中に婚姻届のあつた方

- (○印は戸籍の筆頭者)
- 五城目町 ○伊藤 雄
- 羽城町 ○安田 ミチエ
- 福島県 ○神田 磯雄
- 二上川町 ○桜庭 ナツ
- 上江川町 ○大関 金一
- 藤原 ○久子
- 江川町 ○藤原 悠子
- 愛知郡 ○奥井 悠子
- 二上川町 ○高橋 耕三
- 仙北郡 ○安藤 勝治
- 塩田町 ○安藤 菊枝
- 秋田県 ○北島 芳男
- 天沼町 ○沼田 ケセ
- 鶴岡市 ○木元 喜代栄
- 福島県 ○久保 栄

六月中に死亡届のあつた方

- 羽立町 兼吉(69才)
 - 中羽立町 菅生 喜一(70才)
 - 天王町 野口 亘(56才)
 - 天王町 菊地 小喜(69才)
 - 塩田町 松雄(27才)
 - 上江川町 山初 善樹(1才)
- 六月中に出生届のあつたもの
男四名、女一名、計五名